

授業科目 生物学の世界

【担当教員名】 濱口 順子	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・健栄・スポ・社会・看護
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要・一般目標：G10】
 生物のからだは「細胞」を単位としてできあがっている事、たった1つの受精卵から生命が始まること、など学習を通じて知っていることと、私たちの日常の活動を結びつけて考えられるようになることを目標に学ぶ。食事を摂り・息をして・心臓が動き続けていることは私たちの生命を維持するために必須であるが、それと「細胞の生命」との関係を理解できるように、生物全体に共通する原理を学ぶ。そして「1生物種としてのヒト」の生命活動を理解して、「いのち」についての視野を上げよう。

【学習目標・行動目標：SBO】
 生命現象は細胞を単位に進行することを理解する。さらに細胞は物質から形成され、その空間を保持することで生命が維持されていることを理解する。また、細胞が分裂することで個体の発生や形態形成・個体の維持、生殖や世代交代・遺伝などの生物的現象が実現していることを理解できるようになる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	全生物に共通する特質と生物の多様性		
2	生命の単位：細胞 1		
3	" : 細胞 2		
4	細胞という空間		
5	細胞内で遺伝子は何をしているか		
6	DNAと遺伝子		ワークシート1 配布予定
7	なぜ子供は親に似るのか		
8	突然変異とは		
9	細胞分裂 1		
10	細胞分裂 2		ワークシート2 配布予定
11	動物のからだ：組織・器官・器官系		
12	各器官系の働きあい		
13	エネルギー代謝と摂食・呼吸		
14	エネルギー代謝と個体の恒常性		
15	期末試験		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料	「ダイナミックワイド図説生物」 などの図録を使う事があります	石川統ら監修	東京書籍	

【評価方法】 授業中のワークシートの提出と期末試験の得点により総合的に評価する。ワークシートの評価を30%、期末試験70%の割合で採点する。	【履修上の留意点】 配布プリントを中心に授業を進行します。毎回の出席と各自のノート作成が内容の理解に必要なため、プリントとノートをファイルし、毎回の授業に必ず携帯するようにして下さい。
---	---